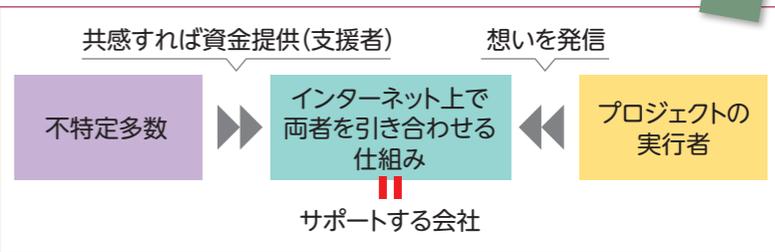


クラウドファンディングで「応援マネー」

クラウドファンディング

クラウドファンディングとは？

最近、耳にすることが増えてきた「クラウドファンディング」。インターネット上で、実現したい夢や活動を発信することで、共感支援してくれる人を募り、お金を集める仕組みです。「群衆」を意味するクラウド、「資金調達」を意味するファンディングを組み合わせた造語で、ソーシャルファンディングとも呼ばれます。



クラウドファンディングの種類

| | 特徴 | 支援者への対価 |
|--------|---|----------------------|
| 寄付型 | 社会貢献性の高いプロジェクトなどに、文字通り寄付を行う形態。災害支援、海外の難民救済への財政支援なども多い。寄付者は税額控除を受けることができる。 | 対価なし または お礼状など |
| 購入型 | 活動やイベント、今までにない物づくり等に、パトロンのような形で出資し、その見返りとして、支援金額に応じた商品やサービスなどを受け取ることができる。金融型とは異なり、金銭的な見返りはない。 | 商品、 権利、 サービス |
| 金融型投資型 | 貸付型(ソーシャルレンディング)、ファンド型、株式型があり、出資金に応じて金銭的なリターンを受け取ることができる。比較的高額な資金調達が可能。出資者としては、比較的小額からの出資が可能のため、多くのプロジェクトに分散投資することでリスク分散が可能となる。 | 配当金 や 株式 |

具体的には、下図のように、「廃校を再生したい」等のプロジェクトの「実行者」、その提案を支持し資金を提供しようとする不特定多数の「支援者」、その両者のサポートを行うクラウドファンディングの「運営会社」の3者によって成り立っています。

支援させてもらって、ありがとうございます

低額なので、大勢の人から集めることによって必要な資金を調達することになります。クラウドファンディングを始めた、レディーフォー株式会社

の広報マネージャー・大久保彩乃さんによると、同じクラウドファンディングという仕組みでも欧米と日本では違いがあるようです。

「欧米では、『今までにない性能とデザインの商品を作りたい』というモノ作り系の資金集めが多い傾向です。一方、日

本は『地域をよくするために頑張っている人を応援したい』などのつながりをつくるようなものが多いですね。特に弊社には『誰もがやりたいことを実行できる世の中にする』をミッションに掲げていることもあって、大半がつながり系です。実行者と支援者で、双方向にコミュニケーションできる仕組みも提供しており、質問にすぐに答えが返ってくるなど、やりとりは活発です。よく耳にするのが、『支援させてもらって、ありがとう』という言葉ですね」

として、51名から2倍近い資金が集まりました。「応援してくださったのは、やはりシアアの方。今回は講師仲間からの応援マネーが主体でしたね。面と向かって寄付をお願いするのは心理的なハードルが高いものですが、クラウドファンディングという仕組みを利用すれば、双方に負担感が少ない。そこがいいところですね」と山根さん。

資金集めの目標額に到達しなければ？

長野県の医師が立ち上げた「ドクターカーを購入する」というプロジェクトでは、目標額1500万円は10日で達成したそうです。

レディーフォーでは、実行者が設定した資金調達目標額に設定期間中に到達しなければ、支援者が申し込んだ応援マネーは返金される仕組みを取っています。支援者に提供されるのは対価がきちんと提供されたのか、資金の使途や成果は報告されたのか等、きめ細かくフォローする仕組みも構築されており、支援者からの満足感を高めて、この市場を育てていこう、という志を感じます。

応援マネーで住みやすい社会へ

インターネットを利用しての応援マネーのやり取りです。から、シアにはハードルが高いように感じますが、中にはクラウドファンディングで資金を調達するシアも。山根明さん(82歳)が、約80万円の資金を調達したのは1年前です。シア向けの「iPhone教室」で使用する、大きな画面サイズのスマートフォンを購入するための資金44万円を目標に、クラウドファンディングでの資金調達活動を実施。結果

直接的なつながりが希薄な時代だからこそ、これからのいろいろな形での「つながり」や「応援マネー」が増えていき、それが市民主体の社会改善につながっていくことを期待したいですね。

何か社会のために役立ちたい、という気持ちはあっても、そのために実際に行動するだけのパワーはないという方も多いいはです。そんな時に、自分の代わりに活動してくれる実行者を探し出し、実現のために必要な資金の一部を拠出することによって、「社会を良くしていくためのプロジェクトに参加している満足感」を得ることができるという点が、ク



レディーフォー(株)広報マネージャー 大久保彩乃さん